

165 愛知大学 経営学部 経営学科 合格

私がこの1年を通して学んだ、大切だと思ったことについて書こうと思います。

まず初めに、支え合える仲間がいたことです。進路で悩んだ時や模試で上手くいかなかった時にいつも相談して「まだまだ頑張ろうね」と励まし合った友達がいました。その友達のおかげで判定や結果を見て落ち込んでも、すぐ前向きに切り替えることができ、何より精神的に支えられました。これは受験を乗り越えることができた理由でもあります。そして、クラスの間も支え合える仲間です。入試が近づくにつれてクラスの雰囲気が変わってきた時、「受験は団体戦」という言葉の大切さを感じました。クラスの雰囲気で自分のモチベーションが変わります。周りが頑張っているのを見ると焦りを感じ、自分も頑張ろうと思えて自然と良い刺激を受けました。なので、みんなで高め合えるクラスを作れると良いと思います。

次に、継続することです。受験勉強をしていく中でコツコツ続けることの大切さは、どの教科においても共通だと思いました。特に英語では単語帳を毎日開いて何回も繰り返せば覚えにくい単語も覚えられたり、長文を毎日読めば慣れて読むスピードが速くなったり、と続けてきたことが身に付いてきていると実感しました。しかし1日でもやらない日があると、そのまま何日も続いてしまいます。なので、勉強机に向かったらまずは英単語からと毎日のパターンを決めたり、1日にやる範囲を決めたりすると自然と習慣になり、継続することができると思います。

そして一番大切なことは、最後まで諦めないことです。私はセンター前最後の模試になっても判定は悪いままだったので、12月の三者面談では第一希望を受けない話も出ました。しかし、ここまで来たなら挑戦したい、諦めたくないという気持ちがより強くなり、合格するためにもっと頑張ろうと決めました。受験はどれだけメンタル面で強くられるか、どれだけ自分に厳しくられるかだと思います。どんな結果になっても悔いが残らないように頑張ってください！

166 愛知大学 国際コミュニケーション学部 英語学科 合格

私が受験生として1年を過ごして、感じたことをいくつかお伝えします。

まず、1番大切だと思った事は毎日学校に通うことです。私は3年間皆勤で、部活の大会での欠席を除き、補習も全て出席しました。受験期になると「家で勉強した方が集中できるから。」と言って学校を休みがちになる人も中にはいました。でも、毎日規則正しいリズムで生活を送るためにも、学校にきちんと行くことが基本だと強く思いました。また、学校へ行くと「自分の周りには勉強を頑張っている仲間がたくさんいる。」という事も実感でき、とても自分のためになったと思います。それを継続する事で、塾に通わなくても成績が伸びていくのを少しずつ実感する事が出来ました。

しかし、順調に勉強を進めていても、悩む事は1年の間に何度もありました。「このままの勉強の仕方でいいのかな。」「急に英語の点数が下がってどうすればいいかわからない。」と、気づけば毎日不安で、心配で、辛くて、悩みながら過ごしました。でも、そんな時に頑張りが続けることが出来たのは、周りの友達や先生のおかげでした。友達と最近の勉強の進め方や勉強時間などを伝え合うことで刺激を受け、自分も頑張ろうと思えました。また、放課やお昼の時間に一緒に勉強する事で、さらに勉強量を増やすことが出来ました。先生は受験に向けた授業、補習をしっかりとしてくださり、分からない問題を聞いた時には丁寧に解説してくださいました。それに加えて、進路で悩んだ際も気軽に相談に乗ってくださり、とても心強く感じられました。

恐らく、人生でもこの上なく大変な1年になるでしょう。でも毎日頑張っているうちにあっという間に時間が過ぎ、最後にはとてつもない達成感が待っています。辛くなった時には、この文を読んでください。少しでも支えになればと思います。心から応援しています。

167 愛知淑徳大学 健康医療学部 医療貢献学科 視覚科学専攻 合格

私は高2の秋に、そろそろ本格的に勉強を始めなくてはいけないと思うようになりました。やる気を出すためには目標が必要だと感じ、将来の仕事や進む大学についてそれまでよりも真剣に考えました。いくつか興味を持った学校のオープンキャンパスに参加して、3月ごろ志望大学が決まりました。

限られた時間を無駄にしない為には、ほぼ毎日ある学校を有意義に過ごすことが大事だと考え、授業を大切にしました。私は授業中に先生から質問されることが苦手で、いつも緊張していました。苦手な原因は質問に答えられないことでした。だから克服するために、予習では何を聞かれるか予測し理解を深めること、授業では他の子が当てられた時も答えを待たず自分で考えること、復習では今まで聞かれたことには理由まで説明できるようにすることを意識しました。だんだん答えられる質問が増えていくことが自信になりました。

受験を通じて地道な努力が合格への1番の近道だと感じました。予習復習は基本的なことですが、手を抜かずに続けるのは意外に大変です。時間もかかるとは思いますが、あれこれ手を出すより1問から多くを学ぶことで着実に解ける問題が増えます。

また、成績が上がり始める時期は人によって違います。思うように結果が出ない時はとても辛いと思います。私自身、やりきったと思えた夏休み明けの模試の結果は、過去最低に近い点数で前回から40点落ちた教科もありました。落ち込んだ時、支えになったのは先生からの「絶対上がるからそれまでは我慢」という言葉です。今までの努力を無駄にしたくないという気持ちで踏ん張れました。

受験ほどたくさんの人が、自分の成長を応援してくれる機会はなかなか無いと思います。ぜひこのチャンスを力に、頑張ってください。

168 南山大学 外国語学部 スペイン・ラテンアメリカ学科 合格

僕は、文系私立大学志望の人に向けてアドバイスを書きます。

まず日頃の授業に全力で取り組むことです。これは当たり前のことですが、本当に大事なことだなと改めて実感しました。予習、復習はもちろんのこと授業中に覚える気で授業に臨んでいました。他の人が当てられているときでも自分が当てられている気持ちで受けることを心がけると、自然と授業に集中することができました。

次に、放課の時間を有効活用することです。僕は毎放課、単語帳を覚えるようにしていました。これは本当に力が伸びたと実感することができました。周りが喋っていたり寝ていたりしている中でも一人勉強をする事で、単語力はもちろんだらういった環境であっても集中する力がつきました。みんなが喋っている間に自分の力はどんどん伸びてるぞ、ざまあみやがれ！という気持ちでいるとさらにはかどりました。あまりこの感情を外に出しすぎると嫌われてしまう可能性があるので注意してください。

次は、定期テストを大切にすることです。定期テストは記憶の定着にとってもよい機会だと思います。この教科受験に使わないんだよなー、めんどくさ！と思うことは必ずあります。僕もありました。別に勉強しなくていいという事ではありませんので勘違いしないように。大事なものは主要科目に目いっぱい時間を使うことです。定期テストを真面目に取り組んでおけば必ず受験に役立ちます。信じがたいとは思いますが本当です。ぜひ定期テストをないがしろにしないようにしてください。

そして僕が一番伝えたいことは、模試の結果なんて気にすんな！！！！！！ということ。言い切っちゃいます。結論から言うと僕が合格した南山大学の模試の結果は受験生生活の一年間ずっとE判定でした。一度たりともE判定より上の判定が出たことはありませんでした。ガチです。僕も一度は諦めようとしたときもありました。ですが、諦めるか諦めずに頑張るか悩んでいる暇があ

るなら勉強しろと言われ、目が覚めました。諦めるか、諦めないかそんな悩みなんか無意味であつて、一度決めた志望校は絶対に変えないでいてほしいと思います。たとえ模試の結果が悪くても、先生に厳しいと言われようとも、自分で決めた事は貫く強い意志と高い目標を常に持っててください。

最後にこの一年本当につらい日々が待っていると思います。ですが、周りにはいつも支えてくれる先生方や友達がいます。今振り返ってみると最後まで諦めなくてよかったなど強く思います。皆さん悔いの残らないよう最後まで決して諦めず目標に向かって精一杯頑張ってください！

169 立命館大学 産業社会学部 現代社会学科 人間福祉専攻 合格

受験を終えた自分から、これから受験に挑む皆さんに向けて、アドバイスを残したいと思います。

まず前提として、受験はとても大変です。辛いし、キツイです。しかしそう感じているのは自分だけではないということも、前提としておさえておいてください。

皆さんはこれから沢山の模試を受けていきます。ほとんどの人はE判定ばかりです。けれどそれは当たり前なので、いちいち凹んではいけません。凹んでいる時間ほど無駄な時間はありません。判定を気にするよりも、自分のできなかった教科や分野を、模試結果を通じて把握し次へ活かしてください。

次は志望校についてです。とにかく早く決めましょう。自分一人では決められないという人は先生に相談しましょう。絶対真剣に相談に乗ってくれます。進路室にも沢山資料があるのでしっかり活用して、自分にあった志望校を決めましょう。

次に授業やドリカム、特別講座についてです。授業やドリカムは全て真面目に受けましょう。少しでもサボると周りに置いていかれます。特別講座はなるべく多く取るようにした方がいいと思います。家で勉強できない人や集中がきれてしまうという人は特にオススメです。自分が振り返ってみても、特別講座を受けている時間は有意義だったと思えます。

最後のアドバイスです。粘りましょう。とにかく粘りましょう。粘ったら必ず第一志望に受かりますとは残念ながら言えません。しかし、最後まで粘った人は高校3年生になったばかりの自分よりも大きく成長できています。

皆さんの受験が成功することを心から願っています。

170 中京大学 心理学部 心理学科 合格

受験生活を終えて、私が特に大切だと感じたことを伝えようと思います。

・目標は心が折れない程度に高く設定しておく。私は先生の助言により、夏休みに自分の今現在の偏差値よりも高い大学を志望校に加えました。これによりモチベーションが上がり、最後まで机に向かうことができました。

・模試の結果を真に受けすぎないこと。大切なのは、模試が終わってからの見直しだと思います。

・後からやろうは厳禁です。受験生はやりたいことやらなくてはいけないことが、次々と出てきます。後手後手にならないようにやることを、あらかじめ絞って取り組むといいと思います。

・自分が勉強できる環境をしっかりと整えておくこと。私は図書館等で集中できない人間だったので、なるべく学校内に残って勉強していました。人によって誰かいたほうが集中できたり、フードコートにいたほうが集中できたりと様々だと思うので、自分に合った勉強スペースを早いうちに見つけるといいと思います。

次は教科別に大切だと思ったことを伝えたいと思います。

国語

・漢字や古文単語を早めに覚えると、試験直前に焦らずに済みます。日々の漢字、古文単語のテストを真剣に取り組むことが大切です。

・国語は特に大学ごとに問題の読みやすさ、解きやすさが違います。四字熟語やことわざを問う大学もあります。大学の出題の傾向をつかんでおくといいです。

世界史

・夏休みにそれまでに習ったところを復習しておくといいです。センターが近づくほどやることが多くなり、復習に時間をさけなくなります。

・まとめノート等を自分で作るか、書店で購入すると復習が一気に楽になると思います。私は『大学受験ここが出る！世界史Bノート』を使用していました。私は書いて覚えるタイプだったので、それとは別に大学の過去問の見直しなどを、全てルーズリーフにまとめていました。単語帳などを使ってまとめると、分かりやすくなるのでおすすめです。

英語

・単語帳は自分に合ったものを選ぶといいと思います。ですが変えるなら早めに。おすすめは『ターゲット1900語』、語法は『スクランブル』です。

・文章題をたくさん解いて英語の文に慣れておくといいと思います。分からない単語は調べて覚えること。これをしっかりやることで単語力がついて、英文が読みやすくなると思います。

受験はモチベーションが大切です。周りを気にせず、自分を上手くコントロールして合格目指して頑張ってください。応援しています。

171 南山大学 総合政策学部 総合政策学科 合格

僕が受験勉強をしている中で、特に気を付けていたことを書きます。

一つ目は、徹底的な基礎固めです。例えば英文法や英単語、古文単語など、これらの基礎が定着していなければ、実際の入試の問題を解くことはできません。受験までまだ時間はあります。この基礎固めに時間を多く使いましょう。僕は夜寝る前と学校での朝学の時間で、基礎固めをしました。一日の勉強の中で大体1時間30分くらいを、基礎固めの時間にあてました。ちょっと少ないように思えるかもしれませんが、長時間だらだらとやるより、短時間で、集中して勉強した方が効率の良い勉強になると思います。

二つ目は、焦らず、自分のペースで勉強することです。模試の結果が悪かったり、周りの人たちの成績が上がったのに自分の成績が下がったりして、焦るかもしれません。しかし、他人は他人で自分は自分、他人に振り回されることなく、落ち着いて勉強しましょう。最後に勝って笑えればいいのです。

三つ目は、規則正しい生活を送ることです。いつも通りの時間に起きて、いつも通りの時間に寝る。実はこれが受験勉強で一番重要だと思います。僕は最初の模試の前日に徹夜しましたが、これが大きな間違いでした。当日は体調が悪く、思う様に力が出せない状況でした。当然模試の結果も悪かったです。このことから睡眠時間の確保はとても重要なことだと気付きました。また、休日に昼近くまで寝るのもNGです。入試当日の朝は早いので、今のうちに朝早くに起きて、夜は12時前には寝る習慣をつけて、規則正しい生活を送りましょう。

1年後、笑って終われるように、自分を信じて頑張ってください。応援しています！

172 同志社大学 商学部 商学科 合格

僕が大学受験を通して感じたことをいくつか書いていきたいと思います。

僕が最もやっておいて良かったと思ったことは高校1年生の頃から、英単語や英熟語、英文法をコツコツ覚えていたことです。毎日30分くらいしか取り組んでいなくて、模試で結果が出るまで1年半くらいかかりましたが、3年生になる頃には英語が1番の得意科目になっていました。1日に何時間も勉強することはもちろん、毎日コツコツと続けることがとても大切だと感じました。大学受験を考えている人は今すぐにも行動し、周りの受験生と差をつけられるようにしましょう。大学受験にフライングはありません。

次に、1冊の参考書を隅々まで完璧にすることです。受験と言うと、いろんな参考書で勉強するとイメージしてしまうかもしれませんが、それは大きな間違いです。レベルごとに、参考書を持っていることは良いことかもしれませんが、同程度のレベルの参考書を複数買う必要はありませんし、そもそもやり切れません。1冊、自分に合っていると思う参考書を極めると決め、何回も繰り返し取り組みましょう。

そして、早めに過去問に取り組みましょう。ただ解いて丸つけをするだけではなく、自分の課題を見つけ、目標までの差を埋める勉強を考えましょう。僕は現在通っている大学の過去問を解いた時、英単語を1語1義覚えるだけでは足りないと感じ、急いで、2つ目、3つ目の意味や、派生語を含め単語帳全てを覚えました。その時、他大学の過去問やセンター対策もやる必要があったので、覚えることが多くてとても大変でした。ですので、過去問はできるだけ早めに取り組み、対策を練った方が良いと思います。過去問は志望校に合格するために、自分がやるべきことを認識する手段です。

僕のアドバイスが皆さんの役に少しでも役に立てば、と思っています。最後まで諦めず、悔いが残らないように頑張ってください。

173 愛知大学 経営学部 経営学科 合格

自分は模試の科目別の学力レベルがFとEからはじまりました。部活が忙しかったので本格的に始めたのは部活引退後の5月でした。そして自分を追い込むために部活のメンバーや家族に宣言しました。宣言したことは自分にとっていいプレッシャーになって辛くてあきらめそうになったときに緊張感をもって取り組むことができました。ルーティーンを決めるとやり終わったときに達成感があったので、毎日の大まかなスケジュールをきめました。土日は6:30-10:30 国語 10:30-15:30 英語 3:30-22:30 日本史(休憩もいれる) 6:00 起床 11:45 就寝 22:30 には勉強をストップし、お風呂に入っている間も軽く単語などを覚えていました。毎日の生活リズムを整えることで授業も眠くなくなったし、朝もスッキリ起きられました。早く自分にあった睡眠時間を見つけることが大事だとおもいます。これは1つ上の先輩の言葉にもありました。食事面でも眠くならないように、小麦を控えたりお腹いっぱい食べたりしないようにしました。暗記には思い出す作業が一番大事だとおもいます。その作業はほんとにつらいけれど、自分の覚えられてないところを明確にするには大切なことです。ですから、授業中にも空き時間がある度に前回の復習し、放課にも思い出しました。暇な時間はなくしてください。自分を見つめ返す時間も必要なので、毎日の登下校や寝る前に、今必要な勉強はなんだろう、弱みはなんだろう、今日明日はなんの勉強をしよう、と考えて何を目的に頑張るのかを決めることや、今日は何を学べたのかを言えることが大事です。それが言えなかったらやっていないのと同じだと思います。ただやっているだけの勉強は意味が無いからです。

志望校がE判定なんて当たり前だから、そこから自分がどんな努力、我慢をして成長できたかが終わったあとの自信に繋がります。明日からじゃなく、今この瞬間から後悔なく勉強に取り組んでください。ライバルは南高だけじゃなく全国の受験生です！

174 南山大学 人文学部 日本文化学科 合格

私がこの受験勉強で学んだことを書こうと思います。私は第1志望をずっと南山大学にしていたのですが、模試の結果が出ず、1度もE判定を抜け出せたことがありませんでした。周りの受験生の判定や点数が上がったという声を聞いて、何度も焦りました。

私はほぼ3年間部活一直線だったこともあって、英語と歴史は基礎知識がほとんどついておらず、10月まではずっと、英語ではターゲットやスクランブル、歴史では上手く自分にあう勉強法が見つけれずワークをやったり、教科書をみたり、ノートにまとめたりとすべて中途半端になっていました。

そこで迎えた10月のマーク模試では結果が出ず、滑り止めの大学を下げなければならないことや第1志望も少し考えなければならないことを面談で担任の先生から助言を受けました。初めて本当にダメだと思い、気持ちを改めて勉強に打ち込もうと思いました。歴史は参考書を書き込み式教科書1本に絞り、英語はスクランブルとターゲットを5、6周を目標にして何度も演習を行いました。国語は漢字や購入した現代文のワークと古典単語、古典文法を完璧にすることを目標に勉強しました。その時期からは放課後一宮駅内にある中央図書館で勉強し、休日は携帯を家に置いて近所の図書館に行っていました。平日は3、4時間、休日は10時間以上を目標としていましたが、携帯の誘惑に負けて何度も悔しくて泣きました。

携帯を見ることを自分で抑えられなかったことが私の1番の後悔です。センター前にはもう無理だとあきらめの気持ちが出てしまい、最後まで出来なかったことも後悔のひとつです。最後まで気を抜くなと言うのは簡単だけどやることは大変難しく、当たり前なのがどうしてできないのかと自分を何度も責めました。そんな時に支えてくれた家族や友人、先生方の助けも合格に繋がっていると私は思います。メンタル面では特に学んだことが多いです。スマホ、ゲーム等の時間をコントロール出来る人が本当の合格者なのだろうなと感じました。もうひとつは周囲です。文Iは既に進路が決まっている人もいて、私はまだ決まっていないのに……と焦り、雰囲気が緩んでしまったことがありました。周りの協力も必要だと思います。受験は団体戦とよく言われますが本当にそのとおりでこの1年で学びました。

175 愛知県立大学 教育福祉学部 社会福祉学科 合格

私が受験を通して大切だと思ったこと、やってよかったと思ったことを書きます。

まず、気持ちを強く持つことです。そのためにも自分が心から行きたいと思える志望校を決めることが大事だと思います。たくさんオープンキャンパスに行っているいろいろな大学を見て、なるべく早く自分の目標を決めて下さい。また、模試の結果があまりのびなくて志望校に届かないかもしれないとか、勉強もうやりたくないなと思っても、後ろ向きの言葉を口に出さないようにしていました。口に出すと本当にそうになってしまう気がしたからです。モチベーションが下がったときは、センター試験で失敗した自分、志望校に落ちた自分を想像して、絶対そうはなりたくない自分を奮い立たせて黙々と勉強していました。補習なども意味がないと思って受けるのと前向きに受けるのとでは、吸収が全然違うと思いました。

次に、時間を大切にすることです。私は朝早く学校に行き勉強し、放課後もできるだけ学校に残って勉強していました。家では英単語とその意味を交互に声に出してすらすら言えるまで繰り返したり、英文の大体の意味を考えながら音読したりしました。覚えられない単語は紙に書いて、トイレや洗面所に貼って定期的に見るようにしていました。また、冬頃からはお風呂にもジップロックにいれた単語帳を持ち込んだりして、とにかくスキ間時間を有効活用しました。地道にコツコツ積み重ねていくことが本当に大切なのだなと感じました。

南高の先生方はとても真摯になって私たちと向き合ってくれるので、そんな先生方を信じて、頼ってください。この私のアドバイスが少しでも皆さんの役に立てば嬉しいです。自分に妥協せず、後悔

のないよう頑張ってください。

176 岐阜県立看護大学 看護学部 看護学科 合格

大学受験を終え、特に部活をやっている人、看護大学を目指している人にむけて伝えたいことが3つあります。

1つ目は、学校に休まずに行くことの大切さです。学校に行くことで自然と勉強のリズムができます。学校では先生方がその時期にやるべきことを用意してくださいます。私は授業以外に特別講座をとったり補習後に学校に残って勉強したりして、少しずつですが力がついてきたように思えました。学校の教材や授業や補習をベースにして地道に、目の前のやるべきことをやってみてください。看護大学を志望している人は特に、欠席をしないことは自己管理ができることのアピールになり、思いがけないチャンスにつながるかもしれません。学校では先生方が面接や小論文の指導もしてくださいます。まずは学校へ毎日行き、学校を最大限活用してみてください。

2つ目は、志望校を早く決めるべきということです。1年生時に志望校を決めた人の合格率が90%近いというデータがあることを知り、私は1年生から第一志望を考えていました。早いうちからはっきりとした目標がある方が頑張れると思います。特に看護大学を目指す人は早めにオープンキャンパスに参加して、なぜ自分がこの学校に行きたいのかを日頃から考えておくこと小論文や面接もスムーズにでき、良いと思いました。

3つ目は、何事も最後まで諦めず続けることの大切さです。私は5月まで部活をやっていました。不安もありましたが、まず部活を精一杯やろうと割り切って部活と勉強と切り替えていました。部活で培った体力、精神力、集中力はすべて受験に活かせたと思いますし、きつい練習を乗り越えられたのだから勉強だってできる、という自分の自信にもつながりました。今、部活をどうしようか迷っている人には、最後まで続けることを勧めたいです。

そして、受験は最後まで何が起こるかわかりません。受験勉強も途中で諦めたり逃げたりするのはなく、この大学に受かりたい！という強い気持ちで頑張ってください。

177 岐阜大学 地域科学部 合格

始めに、僕が受験生としての1年を過ごした中で最も後悔していて、これを読む人には同じ後悔をしてほしくないことを紹介したいと思います。僕は、夏から本番までは本当にあつという間だということを入念に入れていたつもりで、夏休みは全ての教科の基礎は完璧にするという目標を掲げましたが、実際には完璧にすることはできませんでした。そのせいで夏休みが明けてからが本当に辛く、試験本番まで、時間が足りないといつも嘆いていました。もっと早く基礎を固めていれば、もっと苦手を潰し、得意教科で深い学習ができたと後悔しています。

次に、受験生として僕がやったよかった・やるべきだったと思いついた一部を紹介したいと思います。

一つ目に、2つの弱点を対処することです。1つ目の弱点は苦手教科のことで、僕の場合数学が本当に苦手で、高得点を取ることも、基礎を固めてせめて他の人たちができるところで落とさないことを目指しました。2つ目の弱点は自分の性質のことで、僕の場合、夜は1日の疲れでどうしても集中できませんでした。したがって疲れが出る前に予習・復習を済ませ、早く寝て、早く起きて朝に最も勉強を頑張りました。

二つ目に、夏休み終わりまでに一通りの基礎を固めることです。これは前述したように僕が後悔したことでもありますが、基礎の定着・演習はいくらやっても足りないほどであり、夏までに基礎を固めた人はいつも安定して高得点を取っていたので、絶対にやった方がいいです。

三つ目に補習・授業には積極的に参加することです。得点を伸ばすことにおいて重要なのは予習・

復習だと改めて実感させてくれたのはこれらでした。これも前述したように、僕は焦るのが本当に遅く、夏休みに少し甘えてしまったためにその後の勉強がとても辛かったです。その後で一番役に立ったと感じるのは、冬休みの演習を中心とした補習でした。補習を通して徹底的に復習したことで、いわゆる「受験生は本番当日まで伸びる」を強く感じました。

僕の時と皆さんの時では試験の体制が変わるようですが、僕のアドバイスが少しでも役に立てば、と思います。目標に向かって必死に勉強することも、それによって目標を達成することも、良い経験となり自信につながります。最後まで諦めないで頑張ってください。皆さんが目標を達成、あわよくば目標以上の進路を決めることを祈っています。

178 愛知県立大学 外国語学部 ヨーロッパ学科 フランス語圏専攻 合格

受験生として過ごしてきた1年間を通して、私が大切だと感じた事を幾つか書こうと思います。

1つ目は、目標を立てることです。必ず志望校に合格する、センター試験で何点以上をとる、といった長期的なものでも、次の模試で点数を上げる、1ヶ月後にはこの教科のこの部分を完璧にする、といった短期的なものでも良いです。目標を持つことによって、受験勉強のモチベーションを保っていくことが大切です。

2つ目は、授業や補習にしっかり取り組むことです。その上で予習・復習はマストです。私自身、予習・復習をするかしないかで、授業内容の身につけやすさが全く変わってきました。よく問われやすい部分や基本的に大事な部分は、大体授業中に先生方が教えて下さります。だからこそ、授業内容がしっかりと身に付くことが大切です。

3つ目は、やると決めたことは最後までやりとげることです。これは受験全体を通して言えますし、受験勉強のために使用する参考書についても言えます。最後までやることで、自分の目で見えたものが増えたという事実や、最後までやりきったという事実が、かなり自信や安心感に繋がります。私は最後までやりきらずに受験に挑みました。その結果、当日は不安からいつも以上に緊張し、頭が真っ白になることもありました。受験当日の最大の敵は不安だと思いました。同時に、最大の味方は自信かもしれない、とも思いました。是非皆さんは自信を持って挑んでください。

最後に、これまで私が書いてきたことはあくまで私が感じたことであって、これを読んだ人全員が共感したり納得したりするものではないと思います。当たり前なことばかり書いているとも思います。ですがこれを読んで、少しでも役に立てることがあれば嬉しく思います。3年生の一年間は辛くて苦しい分長く感じますが、とても短いです。後悔することのないようにしてください。応援しています。

179 愛知教育大学 教育学部 初等教育教員養成課程 国語選修 合格

私の実体験から学んだことを贈らせて頂きます。少しでも参考になれば幸いです。

まず、私が一番大切だと思うのは1、2年の頃の積み重ねです。1、2年の学習状況で3年のクラスが決まるので、進路すら変わってしまうことがあります。実際に、私の友達は国公立志望を2年の時点で断念してしまいました。

また、勉強の仕方では、「定期テストのためだけの勉強」をやめましょう。具体的には、テスト範囲の英語の訳や数学の答えを丸暗記したり、一夜漬けしたりすることを辞める、ということです。解くまでの過程を大切にしてください。どうやったらこの答えになるのか、知識は身に付くのか。テストの点数よりも圧倒的に大切なのはその部分です。ゆっくり着実に、知識を自分のものにしてください。

ただ、学校行事や日々の生活で、楽しい思い出を作りたいとも心から思います。折角の高校生なので目一杯友達と喋って、遊んでください。ただ、知的好奇心を満たすためでも、進学するためでも、なんでも良いです。勉強する意欲を失わないでください。そうすれば道は拓けると思います。先生方は協力してください。

ここで、少し実用的な話をしておこうと思います。参考書の話です。参考書は早めを買っておいた方がいいです。特に暗記科目の一问一答などは、早めに取り掛かるに越したことはありません。また、参考書は本屋や情報サイトなどで自分に合うものを厳選して、少なくともした方がいいと思います。お財布にも優しいですし、一冊を徹底してやった方が深く印象に残ると思います。

最後に、私が行きたいと思える大学に合格できたのは先生方のおかげです。大学のことに微塵も詳しくない私に、先生は私の意思を尊重して大学を選んでくださりました。受験に役立つ情報や体験談を話してくださる先生もいました。先生は苦手だ、という人も一定数はいるでしょうが、先生は味方だということを忘れずに、受験勉強を勝ち抜いてください。応援しています。

180 岐阜大学 地域科学部 合格

僕は受験を経験した中で大事だと思ったことを3つ伝えたいと思います。

1つ目は、モチベーションとなるものを見つけることです。なんの目標もなく勉強を漠然とやってもつらくなり、続かなくなってしまう。自分のモチベーションとなるものを早めに見つけてください。行きたい大学を決めることでも他のことでも構いません。

2つ目は、割り切る気持ちです。僕は模試の判定がずっとE判定で、周りより遅れていることに焦りを感じ続けていました。落ち込むこともあったし、途中で諦めようかなと思うこともありました。でも、模試は通過点でしかなく、その判定が悪くても本番で受ければいいのだと考えるようになってから気持ちが楽になり、勉強を続けることができました。自分の弱さを仕方ないと受け入れ、それに向き合っていくことが大切だと思います。

3つ目は、最後まで諦めずにやり抜くことです。当たり前のことのように思うかもしれませんが、当たり前のことをやることほど難しいことはないと思います。受験は辛いことばかりですが、そんなときに支えてくれるのは友達であり、先生です。僕は周りが私立を合格していく中、合格することができず辛い時期がありました。そのときに友達や先生に声をかけていただき、本当に救われました。受験は団体戦と言いますがその通りだと思います。どんなに辛くても逃げずに、周りと一緒に努力し続けてください。途中でやめてしまうと後悔が残ります。僕は後悔だけはしたくなかったのでセンターの得点も低く、志望校はE判定でしたが、志望校を変えずに最後までやり抜き、ひっくり返して合格することができました。そのときは辛かったけれど、今思うとやってよかったと心の底から思います。

皆さんも最後まで諦めずに自分を信じて頑張ってください。応援しています。

181 愛知教育大学 教育学部 教育支援専門職養成課程 教育ガバナンスコース 合格

私が受験を終えて一番感じることは、受験は自分一人では乗り切ることが難しい、周りの人々の支えがあってこそ合格できるということです。

私はこの3年間先生方に本当にお世話になりました。先生方は、忙しい中多くの特別講座を開いてくださり、また質問したときには私が理解できるまで熱心に教えてくださいました。一宮南高校には、生徒一人一人をよく見て熱心に指導して下さる、とても素晴らしい先生方がたくさんいらっしゃいます。私は先生方を信じるのが大切だと思います。先生方は受験のエキスパートです。勉強や進路で悩んだときは、まず先生方に相談してください。きっと支えになってくださると思います。授業や補習では先生の話をよく聞き、自分のものにするのも大切です。先生方から様々なことを学ぼうという姿勢で臨んでみてください。

友達も大切な存在でした。私はテストの日の午後や業後補習がないときは、ほとんど友達と残って勉強しました。相手の頑張る姿を見て、自分も頑張らなきゃという気持ちになり、さらに不安や愚痴を話すことで、心が楽になります。友達と質問し合うこともできます。質問した側は自分のわからな

い問題を教えてもらえるし、質問された側は人に教えることで理解を定着させることができます。時に競争し、時に励ましてくれる友達は、本当に大事な存在です。ぜひ友達を大切にしてほしいです。勉強面では、自分の苦手なところや何度も間違えてしまう問題を一つのノートにまとめ、「苦手ノート」として活用することをオススメします。一冊にまとめると、自分の苦手が一目でわかります。また、何度も見返すことで「左のページの上の方に書いた！」など思い出しやすくなります。

一番大切なのは最後まであきらめないことだと思います。私は途中で失敗もしましたが諦めなかったため、最後の最後に笑顔の花を咲かせることができました。もう一つ、努力は必ず報われます。受験は決して平らな道ではありませんが、後悔しないように最後まであきらめないで頑張ってください！

182 岐阜大学 地域科学部 合格

受験を終えて、やってよかった事、やるべきだと思う事を紹介したいと思います。

まず、やってよかった事は、学校を利用した事とまとめノートを作った事です。私は家で集中できなかったのもので、学校で勉強するようにしていました。土曜日も特講を出来るだけ取ったので、休日をだらだらせず過ごすことができました。そして、まとめノートは日本史で特に役立ちました。間違いやすい時代のところは自分でまとめたり、資料集からコピーして書き込んだりしたことで、センターでは自分のベストが出せたと思います。

次に、やるべきだと思うことは、とにかく英語です。英語が苦手だという人は、小テスト勉強や朝のプリントだけでも毎回やった方がいいです。特に、プリントは後回しにしないでその日にやってください。そして、少しの時間でもいいので、毎日なにかしら英語関連のことを勉強して下さい。これは、リスニングも同じです。どの教科にも共通しますが、5分だけでも毎日やることに意味があります。そこで、スマホを有効活用しましょう。私は、単語をアプリで勉強していました。他にもリスニングができるものもあるのでスマホを頻繁に使う人は1度試してみる価値はあると思います。

私は模試でも考査でも英語の成績が悪く、ずっと足枷になっていたと思います。しかし、センター直前まで英語を毎日のようにやっていたおかげで、英語が足を引っ張ることなく第1志望の大学を受験することができました。どんな方法でもいいので、英語はどの教科よりもやっておくべきだと思います。ただし、時間よりも、勉強の質を重視して下さい。

最後に、行きたい大学や興味のある学部を今のうちに調べて、目標を決めてください。目標がある人は最強です。後悔しないように最高得点、自己ベスト更新を目指してやりきり、支えてくれた人にいい報告ができることを祈っています。

183 滋賀大学 経済学部 経済学科 合格

私が一番大事だと思ったことは、自分に合った勉強方法を早めに見つけることです。私は勉強があまり好きではなかったので、長く続けられるようにいろいろ工夫しました。家で集中できないなら、学校に残ってみたり、塾に行ったり、図書館に行ったり、いろいろ試してみるといいと思います。家では授業の予習と復習や週末課題のような期限つきのものだけをやるのか決めるのもいいと思います。私は一番苦手だった英語をたくさん勉強しました。参考書は夏までに一周しておくことで後で楽になると思います。自分が分からなかったところに付箋を貼って、今の自分の実力はどれくらいかをしっかり理解するといいです。二周目でできるようになっていたら付箋をはがします。何周もやって付箋が減っていくと嬉しいです。何回やっても覚えられなかったり、苦手だったりするものはルーズリーフに書き出して、後から復習できるようにすると効果がありました。英語を青ペンで書いて、その横に意味を黄色やオレンジペンで書いたら赤シートで隠せるのでおすすめです。覚えるまで何回も繰り返しやって、覚えてからも忘れないようにやりました。他の教科も苦手なところをルーズリーフに書き出

しておいて一つのファイルにまとめると、模試や本番で便利です。

10月頃から友達と図書館に通い始めました。図書館は、周りの人や友達が頑張っているのを見て刺激がもらえるので、自分もやらなきゃという気持ちになれました。周りの影響はかなり大きかったです。私は図書館で勉強することが自分に一番合っていると思ったので、4月から通っていた塾を辞めました。そのおかげで自分の勉強時間を確保できたので、辞めてよかったと思います。

まずは授業の予習と復習や補習にしっかり取り組んで勉強に慣れることが大事です。最初から長時間勉強していたら疲れてしまうので、少しずつ勉強時間を増やしていった方がいいと思います。

勉強が嫌になったり、不安になったりすることは何度もあると思います。そういう時は友達と励まし合って、マイナスな気持ちを吹き飛ばしちゃえばいいです。自分に合った勉強方法を見つけて、頑張ってください！

184 高知大学 理工学部 数学物理学科 合格

僕が1番伝えたいことは基礎の大切さです。僕は3年生になってから受験勉強を本格的に始めたのですが、家庭学習や学校の放課、帰宅前に図書館に寄ったりするなど人よりも時間を割いてきたにも関わらず成績が全く伸びませんでした。始めのうちは先輩方のように時間が経てば伸びていくのだと思ひ込み、闇雲に教材を選び勉強していたのですが、成績が伸びる気配はなく、模試などで結果が出せなくて落ち込んでしまうことがありました。

そこで模試の復習や担任の先生との面談から自分に足りないもの考えた結果、基礎が出来ていないことに気がつけました。今までは基礎が出来ていないのに応用レベルの問題や大学の入試問題に手をつけてしまっていて、そこで解説を読み、わかった気になってしまい、結局再び似たような問題に出会ったときに解けないということが多々ありました。この時すでにセンター3ヶ月前だったので、すごく焦りましたが、1からやり直すつもりで基礎から猛勉強しました。そのためなんとかセンターまでにある程度の基礎はおさえられたので最低限そこは良かったのですが、もっと早く気づけていたらと今では後悔しています。

そこで僕のようにならないために気をつけて欲しいことがあります。それは定期テストの勉強の仕方です。正直受験勉強の第一歩は定期テストで漏れがあったところを復習するところからだと個人的に思います。毎回の定期テストを真面目にコツコツ勉強してきた人は、そこにかける時間が少なくなるため有利になるわけです。言い換えるとこんなところでハンデを負うなんてもったいないので、定期テストはしっかり勉強するべきです。模試の方が定期テストより大切だという人もいますが、模試だけが良い成績でも定期テストができていなければ、それは地に足のついてない不安定な学力であるため成績もよく変動します。僕も5月にある1番始めの模試でたまたま英語ができてしまい余裕ぶっこいていたら9月の2回目の模試で成績がガタ落ちしました。定期テストの延長が模試だと思って取り組んでいくのが良いと僕は思います。

こんな内容で参考になるかは分かりませんが、陰ながら後輩の皆さんの目標達成を応援しています。頑張ってください！

185 秋田県立大学 システム科学技術学部 機械工学科 合格

受験生として1年を過ごして、大切だと思ったことを紹介します。

まず1つ目は、諦めないことです。これから先、成績が伸びず挫折したり落ち込んだりすることもあると思いますが、諦めずに努力していけばいつか伸びる時が来ると思います。だから、自分自身の成長に繋がると信じて努力し続けていってください。

2つ目は、授業や補習を大切にすることです。せっかくの勉強する機会を自分で潰してはもったいないです。予習復習をしっかりと、その日のことはその日のうちで理解するくらいがちょうどいいです。分からないとこがあればとことん質問に行くのもいいと思います。

3つ目は、全教科をバランスよく計画的に勉強をすることです。苦手教科の克服や得意教科の成績を伸ばすことも大事ですが、どちらか一方に偏るのは危険です。自分なりの計画を立て、全教科バランスよく勉強するのがいいと思います。そして、自分で立てた計画を必ず守ることも大切です。計画を立てても実行しなければ意味がありません。なので、自分ができる範囲の学習を毎日積み重ねていくといいと思います。

最後に、クラスの雰囲気勉強の質を変えろということをおぼれないでください。放課などの時間も騒がずに上手に活用して、後悔することがないように頑張ってください。

186 公立諏訪東京理科大学 工学部 機械電気工学科 合格

受験勉強で大切なことが3つあります。

1つ目は、学校のある日は毎日学校に行くことです。学校に行けば先生や友達にすぐに質問出来ます。学校を休んで家で勉強した方がいいと言う人もいるけれど、家で勉強していたら分からない問題があった時にすぐに誰かに聞けません。また、学校に行かないとつい朝遅く起きたり、休憩時間が長くなってしまったり、スマホを触ったりなど欲に負けてしまいます。それに対して学校に行けば勉強をする時間と休憩する時間が決まっておろ、勉強をしなければいけないという雰囲気が作られているので嫌でも勉強をすることになります。

2つ目は復習をすることです。僕は、復習は最低2回するようにしていました。例えば物理だったら、授業のあった日の家に帰ってからと次の物理の授業の直前の休み時間に復習していました。授業の直前に復習することによって、次に新しく習うことも理解しやすくなります。しかし復習に時間をかけられないという日もあります。そういう日はノートを1回見るだけでもいいと思います。目を通すだけでも全く見ないよりはましです。

3つ目はスマホの使い方です。2年生までは当たり前のようにスマホを使っていたけれど、3年生になってからはLINE以外のSNSアプリを消す人が多くいました。スマホは受験勉強において最大の敵だと思います。なので、できるだけ多くのアプリを消し、スマホを触る機会を減らすことが第1志望合格への近道だと思います。

最後に、一宮南高校の先生方はいい人ばかりです。例えば、質問したら自分が理解できるまで教えてください、自分の進路で迷った時に真剣に聞いてくれて色々調べたりしてくれます。なので、できるだけ多くの先生と仲良くなり、先生方を上手く利用すると合格するためにすべきことがわかってくるとおぼいます。あとは先生方から頂いたアドバイスを活かして第1志望合格へ努力するだけです。

187 東海大学 教養学部 人間環境学科 社会環境課程 合格

僕にとって受験の本格的な始まりは、思い出すことが辛いほど最悪なものでした。それは3年生の5月のことでした。陸上競技部に所属していた僕は、高校入学時から目指していた東海大会に進めず、そのことで相当落ち込み自分に自信を無くしてしまいました。その時の受験勉強に対するやる気はゼロでした。しかし、高校卒業した今は新しい目標に向かって頑張ることができています。受験を通して僕が感じたことを伝えたいと思います。

一つ目は自分のやりたいことを見つけてほしいということです。部活を引退したとき、これから自分のやりたいことを考え、もう一度競技を続けたいとおぼいました。それから大学を真剣に調べ、自分にとって行きたい・行ける大学を見つけ、オープンキャンパスや見学に行きました。そうしたことが自分の刺激になって勉強のやる気が上がっていき、気付いたら模試の判定でD~E判定だった大学がA~B判定に上がっていました。目標の大学があるということは、やる気に大きくつながるということを実感しました。

二つ目は1、2年生の間に何か一生懸命頑張っしてほしいということです。それは勉強でも部活でもなんでもいいのです。僕自身、受験期の間に辛いこともありました。でも、部活を頑張っていた頃の自分を思い出して「あの時辛いことがあっても乗り越えられたな。じゃあ今乗り越えられないわけないよな」と言い聞かせて乗り越えていくことができました。そして、受験当日も最後まで諦めずに戦うことができました。1、2年生の頃に頑張れたことは大きな自信となり、受験期の自分の背中を押してくれます。なので、今頑張れることを一生懸命頑張っしてほしいです。

最後に、誰だって挫折して諦めたくなることはあります。僕もありました。だからこそ伝えたいことがあります。諦めてしまって後悔しないかもう一度考えてほしいです。周りを見渡せば手を差し伸べてくれる人はいます。最後まで諦めず夢に向かって頑張っしてほしいです。応援しています！

188 愛知教育大学 教育学部 初等教育教員養成課程 数学選修 合格

嘘偽りなく先生の顔色を気にせず本当のことを4つ書きたいと思います。

1つ目は僕が真剣に勉強を始めたのは7月からです。さすがに危機感を感じたからです。7月から始めると1日の勉強量が多すぎて笑えないため早くやることをオススメします。まず初めに取り組んだ教科は英語でした。理系教科に取り組む前に30分から1時間単語帳やスクランブルと向き合いましょう！

2つ目は、僕は勉強計画を立てずに勉強していました。計画立てる時間はもったいないと考えていたからです。勘違いしてほしくないのは、計画をたてて勉強することを否定しているわけではありません。僕自身が実際計画を立てて学習を進めることができなかつたのです。

3つ目は、僕はセンター試験の公民を政治経済で受験しましたが、政経の勉強を始めたのは1月からでした。もちろん勉強が間に合うはずもなく、本番は6割も取れませんでした。政経の教科書は、毎日5分でも見て勉強するといいいと思います！

4つ目は、センター試験前とセンター試験後で勉強時間が大きく変わりました。センター後の勉強時間はセンター前に比べて3時間以上減りました。そのため、前期で合格できませんでした。前期で合格したいのであればセンター後に気を緩めないようにしましょう！

来年の春笑顔で笑いたいのであれば・・・この1年は地獄を見ましよう(๑・̀ω・́๑)。

189 名古屋大学 医学部 保健学科 放射線技術科学専攻 合格

私が大学受験を終わって1番最初に思ったことは、周りの人に感謝ということです。特に南高の先生たちは私たちのためにたくさんのことをしてくれました。授業や補習では勉強のことだけでなく、受験勉強をしていく中で役立つ話をたくさんしてくれて、自分の勉強に対する意識も高まりました。やる気や自信は常にあるわけではないので、すごく助けになったのを覚えています。それに自分ひとりで勉強するよりも、先生とみんなとの授業のほうが楽しいし、頭に入りやすいから、絶対に授業もちゃんと出席して、補習も全部取ったほうがいいと思います。そうすることで、みんな頑張っているのだという一体感が出て、気分が乗らないときも、先生たちもみんなも頑張っているし自分も頑張ろうと思うことができました。

私の場合はあまり自分で参考書を買わずに、学校で購入したものや先生に言われたものやっていました。周りを見て焦ったこともあったけれど、やることを増やしても適当になってしまうので、これが自分にはあったのかと思います。先生たちについていくことは遠回りにならないし、自分次第では近道になると思うのでおすすめです！

勉強以外では登下校中に友達と爆笑したり、叫んだりして帰っていました。嫌なことがあっても話すとなんか楽になるし、戦っているのは1人じゃないってわかるし、一番のリフレッシュになりました。体育も全力でやっていました。こんな感じで、妨げにならない程度の切り替えを見つけられるといいなと思います。あとはとりあえず睡眠をきちんととっていました。寝不足だと疲れますよ。

今だから言えますが、受験生のこのときが 1 番充実していたなあと思います。なにかの目標に向かって頑張れるのって辛いこともありまくりだけど、楽しいことでした。だからネガティブになりすぎないように頑張ってください!!!

190 岐阜大学 工学部 電気電子・情報工学科 応用物理コース 合格

この 1 年は全てを犠牲にして勉強に捧げました。しかし僕はセンターで失敗をし、岐阜大学をボーダーの-30 点で出願しました。2 次試験でも-30 点を埋められるほど解けたわけでもなかったですが、試験開始直前までや試験中、絶対に諦めず分からない問題があっても部分点をもぎ取りにいくという気持ちが合格に導いたのだと思います。

センター試験まで先生にはよく「まだ学力はいくらでも伸びる。志望校を下げるのはまだ早い。」と言われました。この言葉を信じて、センターまでは自分の学力ではまだ届かない大学を志望していました。結果的にセンターの結果を見て志望校を下げることはなりましたが、後悔はしていません。センターまでは挑戦校を志望しておくといいと思います。挑戦校を意識した勉強をすることで、もし実力相応校に出願することになっても、ケアレスミスを他の問題でカバーすることが出来ます。僕は受けた全ての試験でケアレスミスをしました。これは自分なりの考え方ですが、ケアレスミスはあって仕方がない。このミスをどれだけ減らすかです。練習で絶対しないミスを本番ですることもあります。僕のセンター試験の物理では、時間が余ったのにも関わらず相当自信があったので見直しをせずに化学を少し解いていました。そうしたら練習ではしないミスを大量にしていて、今までとったことのない点数を本番でとってしまいました。僕は解き終わった後の見直しがいかに大切かということ、本番で思い知らされました。

過去問をやって傾向をつかんでいけば大学に受かると思っていると痛い目にあいます。過去問がすべてではありません。傾向は変わります。授業の問題や自分で買った参考書などでなるべくいろいろな問題に触れて試験に臨んでください。

この 1 年は本当にあっという間に過ぎていきます。まだ受験は先だからとか、授業でやる問題が難しすぎてまだ自分には早いと考えず、ひとつひとつ与えられた問題をできるようにしていきましょう。

191 名古屋工業大学 工学部 物理工学科 合格

僕は伝えたいことが三つあります。

一つ目は、本番と練習はまったく違います。本番は緊張でいつも通りにいかないし、まわりもその日までにできる限りの準備を整えてくるので、模試の時のような中途半端な状態で来るような人は受かりません。僕は結局センター試験でボーダーに届かず、第二志望を受験しました。第二志望に出願したときや過去問(赤本)に触れてみたときは「まあ第二志望だったところだし、最低でも合格はするだろう。」と思ってしていました。この時の自信は最後に受けた模試の結果によるものです。しかし、本番の試験の一時間目はいつも通りにすらすらとペンが動かず、とても焦り、刻一刻と迫る試験終了時間に僕は押し潰されそうになりました。さらに、試験終了後にまわりの受験者の解答用紙を遠目から見ると、びっしりと埋まっているのがわかりました。そのときは「落ちたな。」と思いました。結局二時間目の科目に救われ合格する事は出来たのですが、合格発表までの間、一時間目の科目の失敗が頭をよぎり、合格を 100%確信する事はできませんでした。結局僕が言いたいことは、模試はあくまで「模擬」試験であり、余裕をぶっこいていい理由にはならないということです。

二つ目は、受験校の選択について書きたいと思います。そのために同志社と東工大を例にあげたいと思います。最初に同志社についてです。僕は同志社を受験したとき、同志社の受験方式について全く知りませんでした。同志社には個別日程と全学部日程があるのですが、個別日程は英語の配点が低

いので英語が苦手な人はこちらの受験方式で受けたほうが合格率は高いのですが、英語が苦手にもかかわらず全学部日程で受けてしまいました。そのためこれも発表日まで合格を確信できませんでした。全学部日程で受ける人は英語でも点数を稼いでくると思ったからです。次に東工大についてです。東工大は共通テストになった後どうなるかはわかりませんが、センター試験だったときはセンターの結果は足切りでしかなく、合否は100%二次試験で決まるというものでした。二次試験の科目は数学、英語、理科で理系に特化している受験生にはとてもよい条件です。とはいえ、まわりの受験者のレベルが高いので早めに(できれば5月くらいには)この情報を知り、数学、英語、理科に特に重点をおいて勉強することが合否を分けるでしょう。この二つの例からわかるように各大学の受験科目、配点などの情報は早めに集め、「この大学にしておけばよかった。」とか「こんな大学もあったのだな。」と後悔することがないようにしましょう。また私立は挑戦校を受けて合格しておく、国公立の時に気が楽になります。

三つ目は、伸び悩みについてです。伸び悩みは何種類かあると思っているので、今回は僕が体験した伸び悩みについて書きたいと思います。僕は序盤の方に成績が上がる感覚を味わい、終盤にまわりに追い付かれたり、追い越されたりしました。これは2年の時に少しでも受験を意識した勉強をした人に起こりやすいのですが、下地が整っているために吸収率が違うので、特に記述模試で序盤の方にまわりの人たちと差をつけることができ、その場所にあぐらをかいてしまいます。そしてまわりの人たちの下地が整い、皆が受験モードに入った12月頃に自分とまわりの人たちとの差が一気に縮まり、自分が伸び悩んでいると感じます。実際自分も伸びてはいるが、伸び率がまわりの人たちよりも低いので、伸びていないと感じるのです。しかし、これは当然の話で、知っている情報が多いほど知らない情報を探すのが難しくなるため勉強の効率が落ち、伸び率が悪くなるのです。これを回避するためには、自分が苦しく感じるくらいの教材を購入することです。学校では基礎と標準の確認をしつつ、自分では高いレベルの応用問題に取り組むことで、どんどん新たな情報を取り入れながらも過去の情報も忘れることなく勉強できます。(だからと言って教材を買いすぎるのはおすすめしない。レベルの高い教材は時間がかかるので、結局使わなかったということも起こりうるから)。

以上三つが僕の伝えたいことです。あと一つアドバイスとして、特別な理由がない限り、補習は参加したほうがいいです。